

令和2年度 ふるさとのづくり支援事業

市町村名	熊本県高森町	
事業名	高森町特産品及び南阿蘇鉄道の特色を活かしたお土産(石鹼)開発事業	
企業等概要	企業等の名称	南阿蘇鉄道株式会社
	代表者氏名	代表取締役 草村 大成
	所在地	熊本県阿蘇郡高森町大字高森 1537-2
	連絡先	0967-62-0058
	URL	https://www.mt-torokko.com/

令和4年2月現在

【事業者概要】

南阿蘇鉄道株式会社は、旧国鉄高森線から第三セクターとして7市町の出資により昭和61年に設立。鉄道路線高森線を運営しており、地元の公共交通として利用されているほか、観光列車を導入するなど観光面にも力を入れている。



《高森駅舎》

【事業概要】

◇背景・経緯

2016年に発生した熊本地震により、線路やトンネル、橋梁などに甚大な被害が発生した。

現在は全線17.7kmのうち高森～中松間(7.1km)の一部運転をおこなっており、2023年には全線復旧を予定している。当社の既存お土産品及びオリジナルグッズは鉄道グッズに限られ一般向けの商品が無かったため、当事業では全線復旧を見据えたお土産品開発に取り組んだ。

◇開発概要

ターゲットを女性とし、合成界面活性剤を使用しない体に優しい石鹼づくりに着手。町内で手作り石鹼を製造・販売する会社と共同で、地元の特産品を使った南阿蘇鉄道の車両を表現した石鹼を研究開発した。

【成果】

◇地域性・特徴

- ・高森町をはじめとした南阿蘇地域特産のブランド牛「あか牛」の牛脂「ケンネン」を石鹼の主成分であるオイルとして利用した。
- ・「ケンネン」は使用用途が限られており利用価値がほとんどなかったため、牛脂を精製し石鹼の主原料として利用することは単に特産品を入れただけの商品でなく、特産品のブランド価値を高める商品となった。
- ・商品の製造は石鹼製造会社を通して障がい者支援施設で行っており、量産化も可能であるため今後も就労支援に繋げていく。
- ・商品の台紙は南阿蘇鉄道のポストカードになっており、写真の風景をイメージした色合いと、高森町のシンボル根子岳をかたどった石鹼にすることにより、車窓からの風景を思い起こすような「旅のお土産」感を演出した。



《商品化した「南阿蘇鉄道あか牛石鹸」》



《牛脂精製の様子》

◇商品化・販売先

- ・令和3年2月に南阿蘇鉄道あか牛せっけん(トロッコ列車ゆうすげ号・MT-2000形・MT-3010)の3種類を商品化し、販売を開始。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初出展予定であった展示会やPRイベントはほとんど中止となってしまったが、当社SNSやメディアを活用してPRをおこなっている。
- ・商品価格は1,210円/個(店頭価格)。現在は駅内とオンラインショップで販売している。駅内で購入される方は女性や家族連れが多い。



《南阿蘇鉄道オンラインショップ》



《高森駅の販売コーナー》

【今後の展望】

- ・2023年の全線復旧へ向け様々な取組みを行っており、お土産品開発も今後さらに力を入れていく予定。復旧した際は人手も倍必要となってくるため、地域おこし協力隊等も活用しながら新規雇用も予定している。
- ・現在、各所より注文(道の駅や企業等)も入っており、今後も継続して製造し、南阿蘇鉄道の定番お土産品として展開していく。
- ・牛脂の精製は、高森町へ移住し新たにレストラン出店準備中の高森町地域おこし協力隊員に依頼することで、移住者の仕事を確保していく。